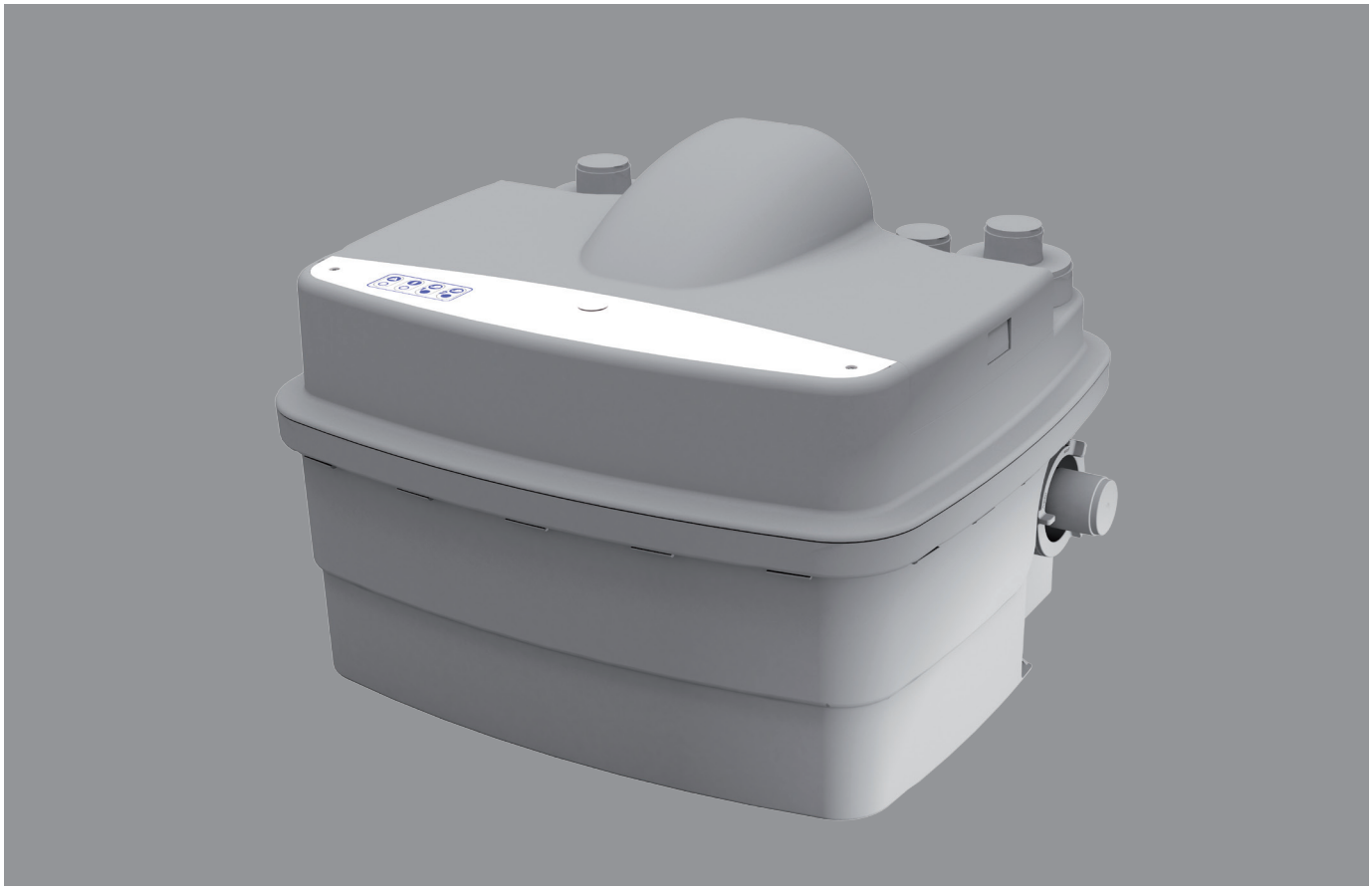
SFA

806
07.12
IND1



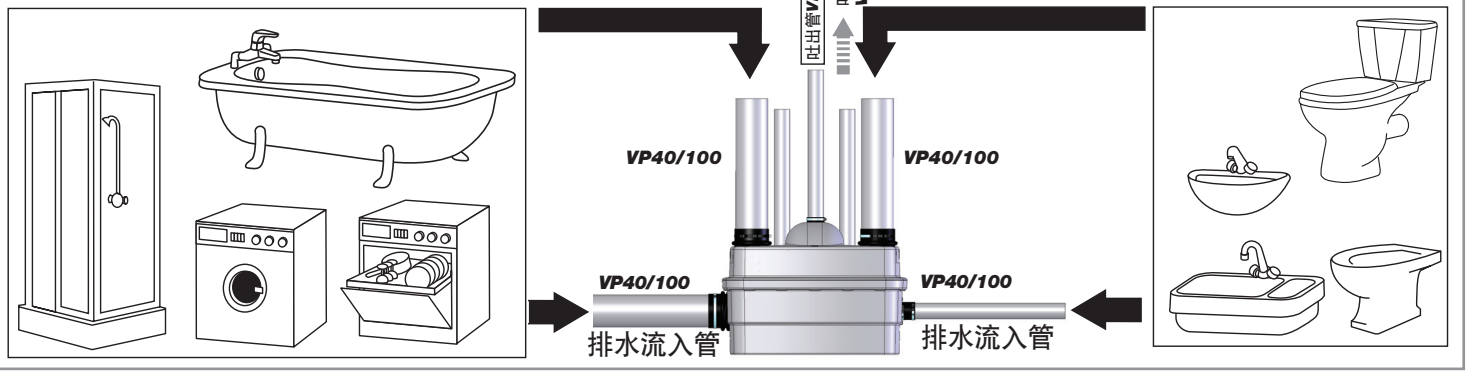
この説明書をよくお読みいただき、日常のメンテナンス.用に 大切に 保管しておいてください。

JP

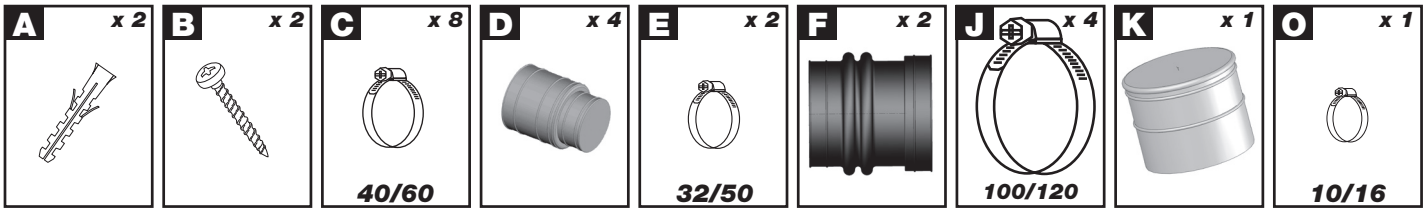
取付説明書兼取扱説明書.

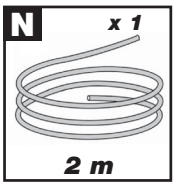
サニキュービック 2 クラシック

1

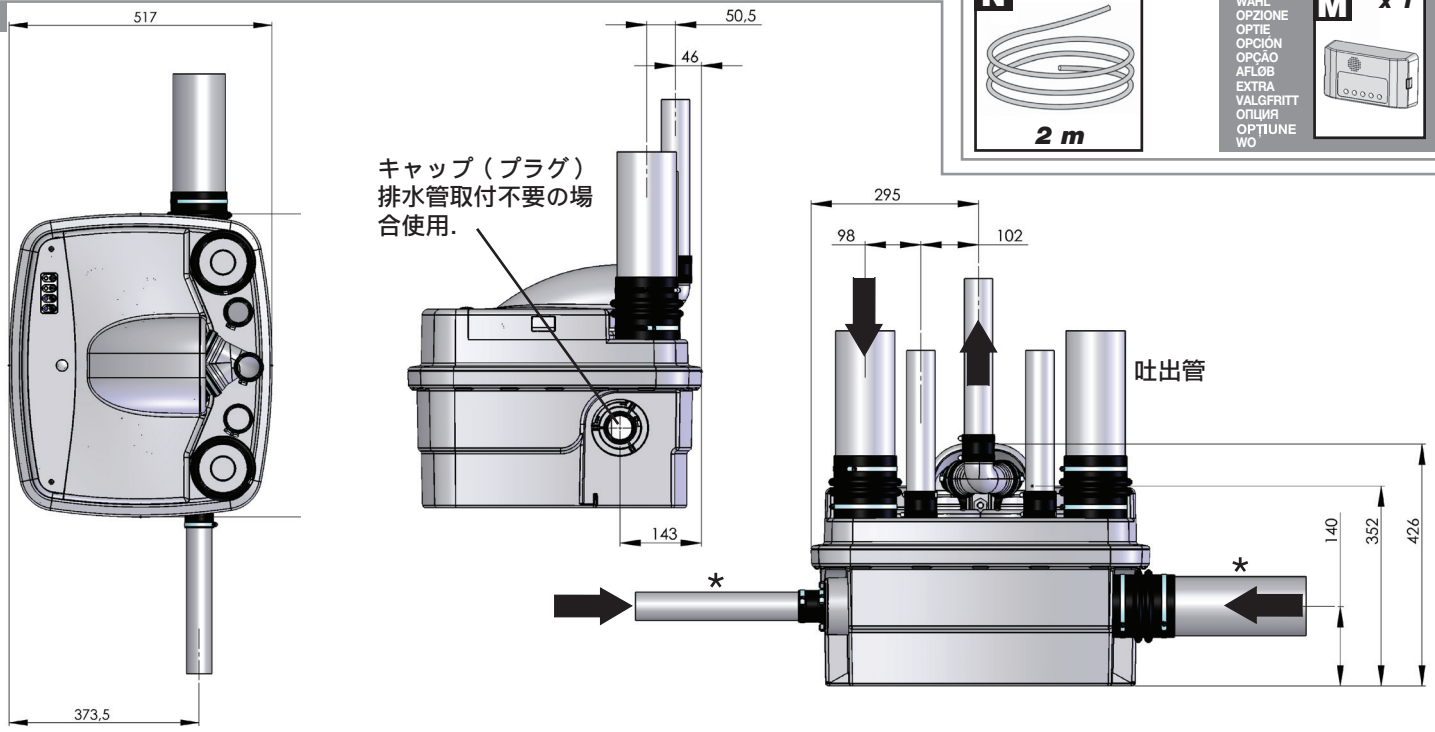


2

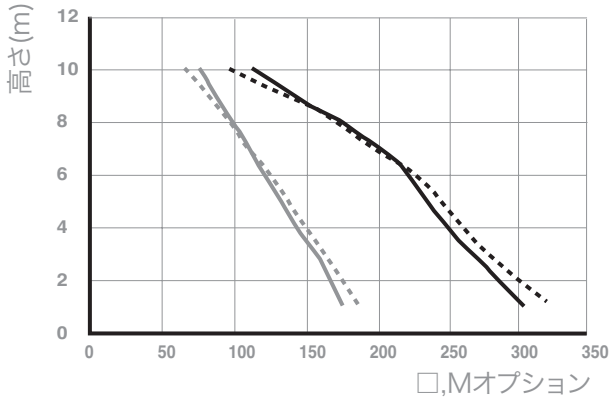




3

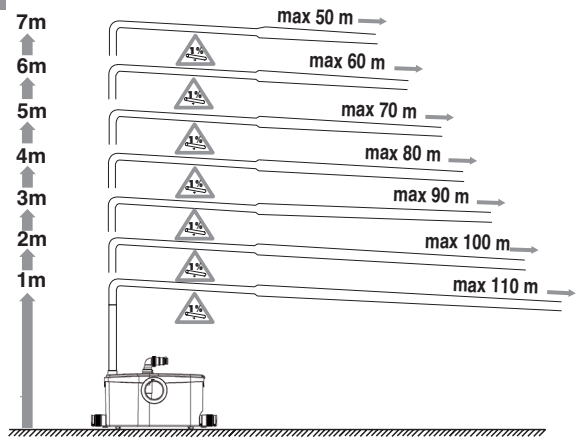


6



P1　モーター1つの流量（リットル／分）
P1+P2　モーター2つの流量（リットル／分）
P2　（;P2は、アラーム作動時のみ運転）

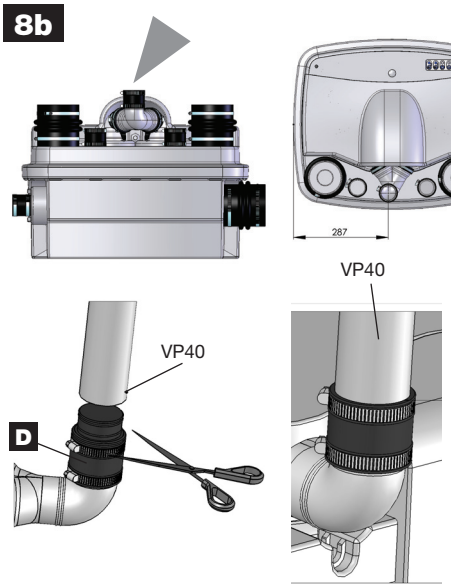
7



* cf. 8b

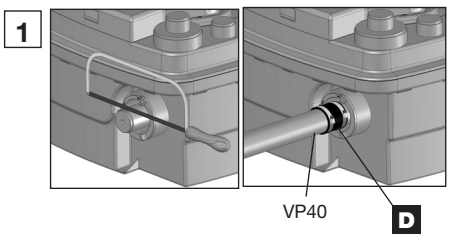
排水接続

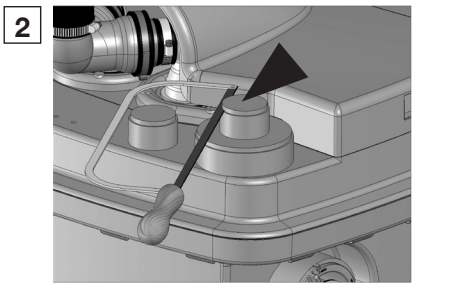
8b

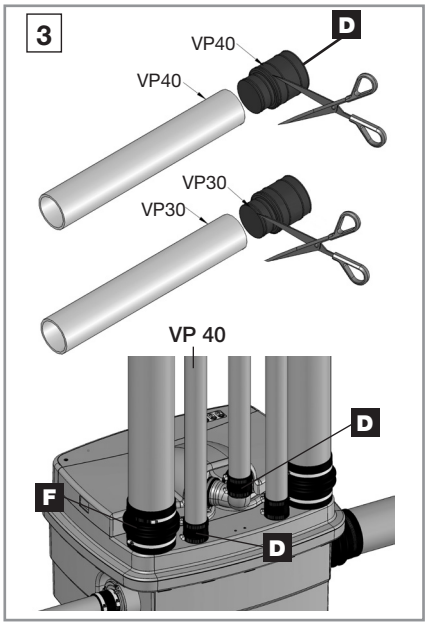


接続口

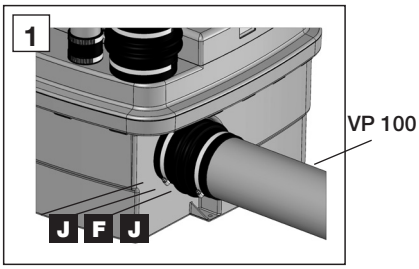
8d

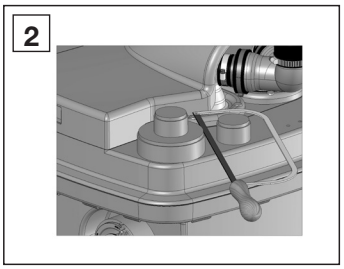


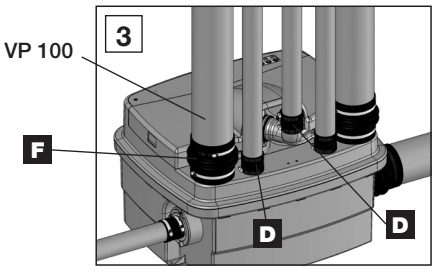




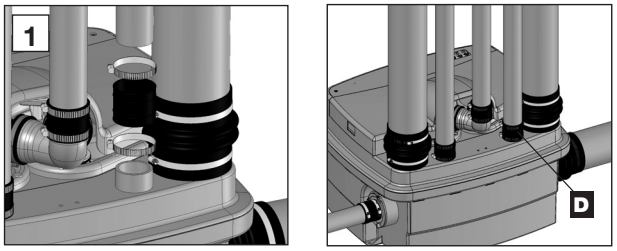
8e 接続口



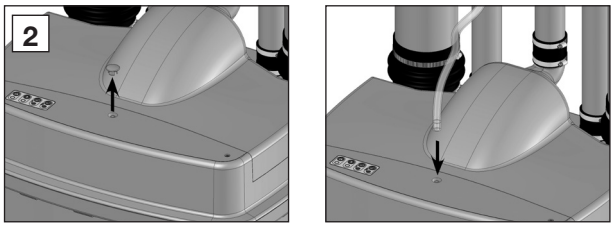




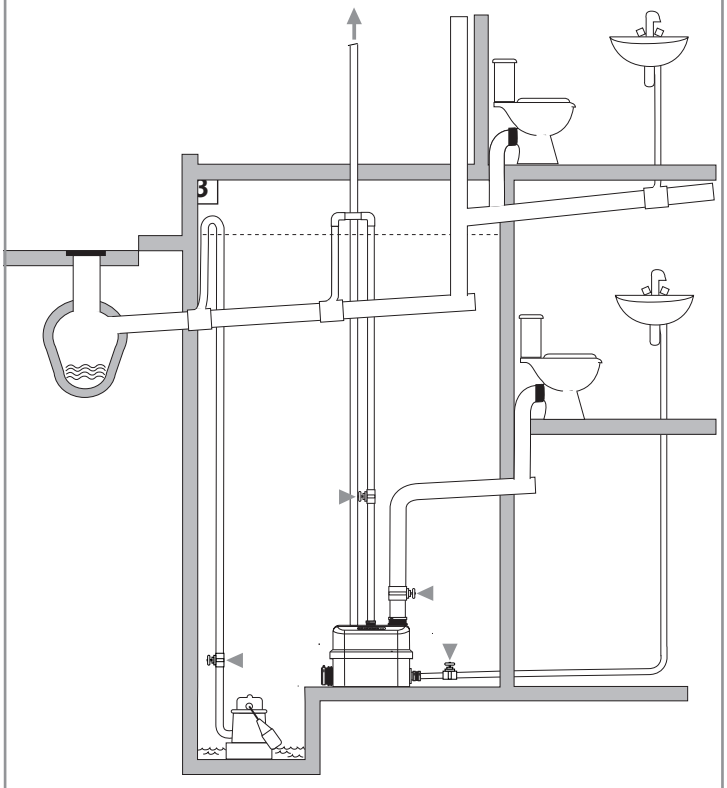
8f 通気タンクへの接続



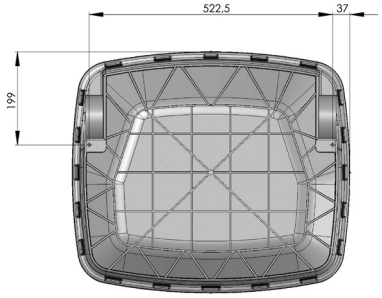
電気装置の通気接続



8g



8h



SANICUBIC® 2 Classic
Société Française d'Assainissement

200 V - 50/60 Hz
3000 W - ⏚

CE

番号は図中の番号に対応しています。

図解入りの詳細なマニュアルは**www.saniflo.co.uk**からダウンロードできます。

1 概要

サニキュービック 2 クラシックは一般住宅や商業建築からの排水用に設計された排水圧送揚水ユニットです。
　取扱説明書に記載の設置及びメンテナンスに関する指示、とりわけ以下のマークの付いた注意事項に従って下さい。

⚠　人体に対して安全上の危険が生じる可能性がありますので注意して下さい。

⚠　感電など電気系統に危険がある場合に警告を発します。

　認定業者などプロの方向けの注意事項です。

「警告」　設備の正常動作に影響を与える可能性がありますので注意して下さい。

　詳しくは弊社のサービス担当業者までお問い合わせ下さい。

サニキュービックについて
　サニキュービック 2 クラシックは相互に独立した2つのポンプを内蔵しています。それぞれのポンプが高性能の排水圧送粉砕ポンプです。
　2つのポンプは交替で作動します。流入負荷が大きい場合には両方のモーターが同時に作動します（また一方のポンプに故障がある場合にはもう一方が起動します）。
　サニキュービック 2 クラシックは 、2本のエアセンサーを備えています。1本はモーターの動作を制御し、もう1本はアラームシステムを制御します。
ー長い方のエア・センサー（正常時の動作）：タンク内の汚水の水位が長いエア・センサーの設定水位に達すると直ちにポンプシステムが起動します。
ー短い方エア・センサー（異常時の動作）：タンク内の汚水の水位が上部のポイントに達すると、接点が閉じ、副ポンプシステムが起動します。同時に警報と警報表示が発せられます。サニキュービック 2 クラシックの非常アラームLEDは赤に変わります。

2 供給部品リスト

3 寸法

4 サニキュービック 2 クラシックの技術データ

型式	SANICUBIC 2 Classic
最大吐出高	10 m
電圧	200 V
周波数	50/60 Hz
体積	47 リットル
最大入力電力	3000 w
最大入力電流	13 A
電気分類	I
最適性能のための平均水温	35°C
最大断続温度（最長5分）	70°C*
保護等級	IP67
正味重量（付属品含む）	30 kg

*食器洗い機あるいは洗濯機からの排熱水サイクル

5 適用範囲

家庭用排水（合計流量がグラフ6に示す流量の80%を超えてはならない）。
業務用、主にレストランの排水、医療施設等の用途には、必ず設計時にご連絡下さい。

6 性能曲線

例：ポンプP1が通常動作中である。P1は5mの高さから毎分160リットルを吐出する。P1が力不足の場合、あるいは排水流入量が大きい場合にはポンプP2が起動する。正常の状態に戻るまでの間、吐出流量は毎分およそ275リットルに増える。

7 吐出高さ／距離比

8 設置

サニキュービック 2 クラシックの立ち上げ運転及び保守は資格を有するプロが行わなければなりません。

8a 規則

　1- 注意：サニキュービック 2 クラシックが設置されるスペースは、メンテナンス作業が必要になった時に作業しやすいように、ユニットの周囲と上部に600mm以上の作業空間を必ず確保してください。また十分な照明と換気があり、凍結の危険のない場所に設置します。
2- 修理／メンテナンス作業を安全に行えるようにするため、汚水取り入れ口（とりわけ110mmの取り入れ口）と吐出口には仕切弁（別売）を取り付けてください。
3- 排水管は下水管から水が逆流してこないように取り付けてください（図8gの例を参照）。逆流は、最高逆流水位より高い位置まで達する逆流防止立ち上がり管を設置することで避けられます。
コメント：現場の特別な理由がない限り、最高逆流水位は路面（車道、歩道など）と同じとします。逆流防止立ち上がり管の後はより口径の大きい管で配管をつなげてください。
4- ピットなどのスペースにサニキュービックを設置する場合には、水浸しに備えてビルジポンプを装備することを推奨します。
5- 排水圧送ユニットは天板の高さに排気口を設け換気してください。
6- 排水圧送ユニットは床に固定してください（パラグラフ8h参照）。

8b 排水管の接続

ユニット背面からエンドカバーを取り外します（**8g**1参照）。

ポンプは、両方ともに排水圧送粉砕ポンプなので、VP40程度の排水管を用いることができます。

吐出管はユニット中心の背面にあります（**8b**参照）。付属のゴムジョイントDを用いてこれを立ち上がり管につなぎ、鋼製バンドで固定してください。

サニキュービック 2 クラシックの各ポンプは逆止弁を備えています。

調節弁と逆流については**8a** 項を参照してください。

8c 下部取り入れ口への水廻り機器の接続

サニキュービック 2 クラシックと同一レベルにシャワーや浴槽を設置したい場合には、水廻りの排水レベルの上部が床面より250mm以上高いことを確認してください。

8d VP40の取り入れ口の接続

下側取り入れ口（**8d**1参照）

上側取り入れ口（**8d**2参照）

・VP40取り入れ口の末端をのこぎりで切断します。

・口径VP30又はVP40に合わせてゴムジョイントDを切断します（cf. **8d**3）。

・カラーを使って取り入れ口と管にゴムジョイントDを固定します。

8e VP100の取り入れ口の接続

下側取り入れ口（**8e**1参照）

1- 側部取り入れ口の栓を外します。

2- 鋼製バンドJを用いてゴムジョイントFを固定します。

3- ゴムジョイントの反対側の端にVP100の管をしっかりと差し込み、もう1つの鋼製バンドJで固定します。

上側取り入れ口（**8e**2参照）

1- VP100取り入れ口の上端をのこぎりで切断します。

2- 鋼製バンドJを用いてスリーブFを固定します。

3- スリーブの反対側の端にVP100の管をしっかりと差し込み、もう1つの鋼製バンドJで固定します。

8f 通気口の接続

1- サニキュービック 2 クラシックの通気口

サニキュービック 2 クラシック に は、必ず通気口が必要です。

鋼製バンドCを用いてゴムジョイントDを固定します。

スリーブの反対側の端にVP40の管をしっかりと差し込み、もう1つの鋼製バンドCで固定します。

警告：吸気弁を通気管の最上部に設置しないでください。通気口は開放型のものである必要があり、そうでない場合、ユニットが作動しません。

2- 操作ボックスの通気

付属の部品表（N）のチューブをサニキュービックのキーボードに接続します。冠水時における部品内への浸水を防ぐため、チューブの反対側の端は機器より1m～2m上に来るようにしてください。

重要：チューブを挟まないようにしてください。

8h サニキュービックユニットの床への固定

サニキュービック 2 クラシックユニットは、転倒したり動いたりしないように床に固定するための金具を備えています。

1- 所定の位置にユニットを置きます。

2- 床固定用の穴2か所の位置を合わせます。

3- 床に2本のピンAを配置してから機器を置き直します。

4- ユニットをねじBで固定します。

8i 電気の配線工事

1- 電気設備の設置工事は資格を持つ電気工事士が行う必要があります。

2- 電源は単相200Vを使用してください。本ユニットは接地された電気接続ボックスを介して接続する必要があります。電気回路を保護するため、定格電流20A／定格感度電流30mAの高感度漏電ブレーカーを必ず使用してください。電源は蛸足配線にせず、必ずサニキュービック 2 クラシックのみをつないでください。ユニットの電源リード線に損傷が生じた場合には、危険回避のため、メーカーないしアフターサービス担当者が必ず交換してください。

9 警報動作

1/ 非常警報：

高水位警報：

ユニット内の水位が異常に高くなる場合：ブザーが鳴り、赤色LEDが点灯する。3秒後にもう1つのモーターが起動する（操作キーボードを示す図解を参照）。

臨時警報：

2つのモーターのうち1つが1分以上にわたり動作している場合：ブザーが鳴り、赤色警報LEDが点灯する。3秒後にもう1つのモーターが起動する。

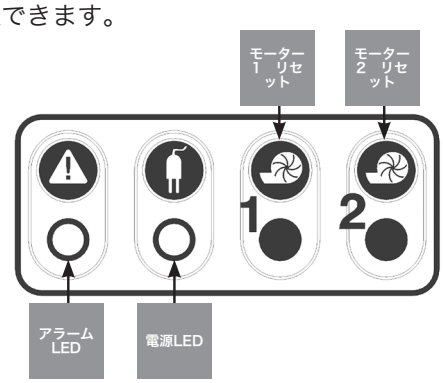
電源警報：

停電の場合（あるいはユニットの電源プラグが抜けている場合）：ブザーが鳴り、赤色警報LEDが点灯する。黄色の電源LEDも点滅する。

2/ 非常警報のリセット

上記警報の原因となった問題が解消した場合には、ブザーは停止しますが、赤色警報LEDが点灯したままとなり、システムに問題が発生した事実が記録されます。

すべての場合で、キーボード上の2つのキーのうち1つを使用してブザーを止めることができますが、赤色LEDを消すには、まず警報の原因となった問題を処理しなければなりません。これにより、システムがエラー状態のまま放置されるリスクを回避できます。



11 試運転

1- 配管と電気接続の完了後、使用する各取り入れ口から連続して水を流して接続部から水漏れがないことを確認します。システムの試験のため、水を入れて2度以上起動サイクルを実施してユニットが正しく動作することを確認します。

2 - 警告！　ポンプ内が水で満たされるまでは、（操作ボックスの押しボタンを押して）オーバーライド状態でモーターを動かさないでください。水のない状態で動作させると粉砕系の損傷の原因となります。

取扱説明

12 使用

1- サニキュービック 2 クラシックは家庭用排水を排出するために設計されています。別の用途に使用した場合には保証が無効になります。生理用品、コンドーム、衛生用品、オイル、溶剤、酸、その他の腐食性ないし爆発性の液体等を流さないでください。

2- 警告：停電の場合には、サニキュービック 2 クラシックに接続されている水廻り設備から水を流さないようにしてください。

3- 爆発のリスクのある場所に本ユニットを設置又は使用しないでください。

13 メンテナンス

機器が正しく動作していることを確認するため、月に1度必ず目視でチェックしてください。設置状態について、定期的に（年に1度）プロによる検査を受けることをおすすめします。技術的な問題が生じた場合には、メンテ・修理担当者に助言を求めてください。

電源ケーブルに損傷が生じた場合には、危険回避のため、メーカーないしアフターサービス担当者が必ず交換してください。

修理専門の方々のためのマニュアル

15 注意事項

電気設備の設置は専門の電気工事士が行ってください。

別な工事を実施する前に、サニキュービッククラシックの電源を抜いてください。

機器のアラーム

第1段階

不具合	主な原因	対処法
1 - アラーム+非常アラームLEDの点滅	・検知システムの故障	・SFAサービス担当者に相談してください
2-アラーム+非常アラームLEDの点灯	・管の詰まり ・ポンプの詰まり、焼き付き	・（MOボタンで）ポンプを何度か動かしてみてください ・SFAの指定修理業者に相談してください
3- 非常アラームLED	・管の詰まり、ポンプの詰まりや焼き付きなどの問題がある ・停電の影響を受けた	2つのMOボタンのうち1つを押してリセットしてください（アラームが停止します）
4-アラーム+非常アラームLED+黄色の電源LEDの点滅	・電源の停止	・アラームを止めるには2つのMOボタンのうち1つを押してください ・SFAサービス担当者に相談してください

第2段階

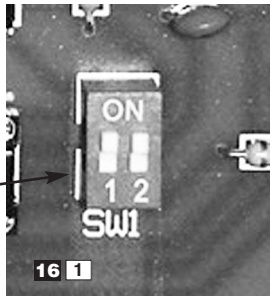
不具合	考えられる原因	とるべき処置
モーターが始動しないがMFは動作する	・電子基板の故障	・SFAサービス担当者に相談してください
ポンプが常時動いたままになる	・吐出管の詰まり ・吐出高が高すぎる ・検知システムの故障 ・電子基板の故障	・吐出管の詰まりを取ってください ・設置状態を確認してください(*) ・SFAサービス担当者に相談してください
ポンプが動いたり止まったりする	・逆止弁が漏れている又は壊れている	逆止弁を清掃又は交換してください

(*) 警告：ポンプ吐出高が高い場合には、*90°*のエルボは避けてください。
MO：マニュアル・リセット

16 分解

修理専門の方々のためのマニュアル

モーターのうち1つが正しく動作しない場合には、当該モーターに対応する基板上のスイッチを用いて、モーターの使用を「無効」にしてください（SW1：モーター1とモーター2に対して、それぞれスイッチ1とスイッチ2）。

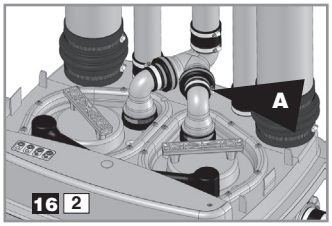


このように「OFF」にすることで、モーターを取り外すことができます。ユニットはもう1つのモーターを使って動作します。

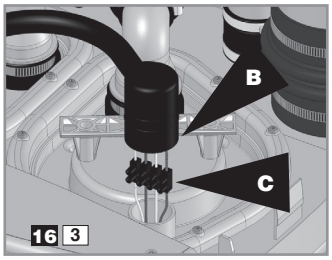
モーターの取り外し

ユニットの電源を抜きます
（黄色の表示灯が点滅状態になります）。

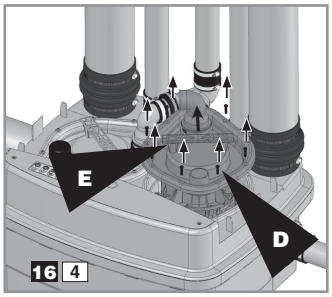
電源が切れたことを示す警報が鳴ります。



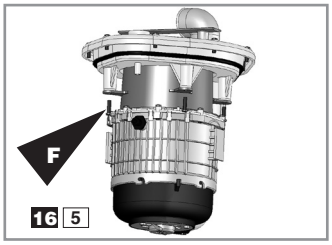
カバーのクリップを外します。異常のあるモーターのカラー **A** のねじを外します（モーター修理中も逆止弁はついたままです）。



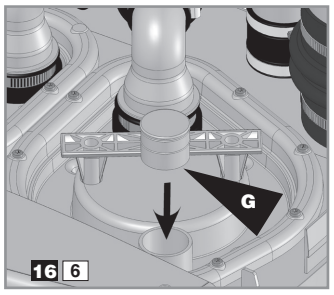
カラー **B** のねじを外します。スクリューコネクターからモーターの電源ワイヤー **C** を外します。



点検カバーからねじ **D** を外します。ハンドル **E** を使って慎重にモーターを持ち上げます。



サービスエンジニアに連絡してください。モーター1つだけの最小構成でも排水圧送ユニットを動かすことはできます。異常のあるモーターのねじ **F** を点検カバーから取り外します。



点検カバーをもとの位置に戻します。
吐出管をつなぎ直します。
栓 **G** を使って点検カバーのモーターケーブル口をふさぎます。ホースクリップ **B** で固定します。

電子基板上の操作（図解 16 1 参照）：異常のあるモーター番号に対応するスイッチをONからOFFにします。

1＝モーター1
2＝モーター2

この構成では、ユニットは「アラーム」状態に切り替わることはなく、残っているモーターへの給電は電子基板で行います。

モーターをもとの位置に戻します
栓 **G** と点検カバーを外します。
点検カバーの上にモーターをねじで止め、カバーをもとに戻します。
モーターの電源ワイヤーをつなぎ直します（図解 16 3 参照）。

警告：

ワイヤーの色を間違えないようにしてください。

青いワイヤーは青いワイヤーに

茶色のワイヤーは茶色のワイヤーに

緑のワイヤーは緑のワイヤーに

白いワイヤーは白いワイヤーに

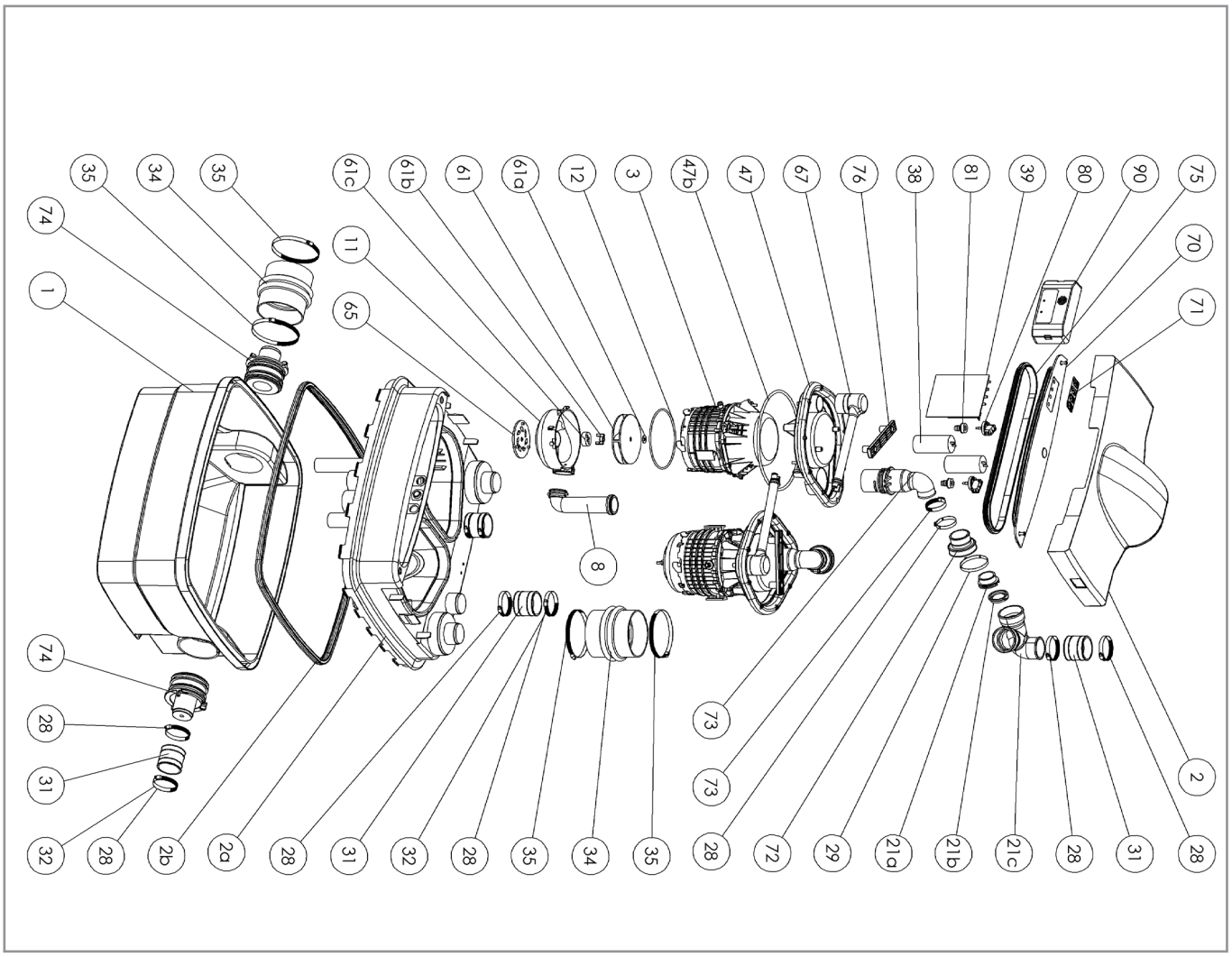
ボード上のモーターのスイッチをONにします。

吐出管をつなぎ直します。

ユニットの電源を接続します。

すべての立ち上げ運転試験を行います（パラグラフ 11 参照）

SANICUBIC® 2 Classic



サニキュービック 2 クラシック

弊社サービスに関するお電話窓口

弊社サービスに関する情報：www.sfa.biz

弊社には、技術開発の進展に応じて本情報を修正する権利があります。

© SFA - D10154 Graphic Plus +33/1/5399 9292. PHOTO VONCKEN - PRINTED IN CEE. SOUS RÉSERVE DE MODIFICATIONS DANS LE BUT D'AMÉLIORER NOS PRODUITS. WE RESERVE THE RIGHT TO MAKE MODIFICATIONS IN THE FURTHERANCE OF TECHNICAL DEVELOPMENT. ÄNDERUNGEN AUFGRUND VON PRODUKTWEITERENTWICKLUNG VORBEHALTEN. SUSCEPTIBLE DE CUALQUIER MEJORA EN NUESTROS PRODUCTOS. ZONDER DAT HIERUIT ENIGE AANSPRAAK KAN ONTSTAAN HEHOUDEN WIJ ONS HET RECHT VOOR PRODUKTEN TE MODIFICEREN EN/OF AAN TE PASSEN. CON LO SCOPO DI MIGLIORARE I NOSTRI PRODOTTI, SFA SI RESERVAIL DIRITTO ALLA MODIFICAZIONE. VI FÖRBEHÅLLER OSS RÄTTEN TILL FRAMTIDA TEKNISKA FÖRÄNDRINGAR. SFA ОСТАВЛЯЕТ ЗА СОБОЙ ПРАВО ВНОСИТЬ ИЗМЕНЕНИЯ, УЛУЧШАЮЩИЕ СВОЮ ПРОДУКЦИЮ. SUSCEPTIBIL DE A SUFERI MODIFICĂRI ÎN SCOPUL ÎMBUNĂTĂȚIRII PRODUSELOR NOASTRE.